

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当	実施 時期	曜日	時限	定員	備考
グループダイナミクス	風間 文明	前期	金曜	2限	若干名	1限 9:00~10:30 2限 10:40~12:10 3限 13:00~14:30 4限 14:40~16:10 5限 16:20~17:50
恋愛と結婚の科学	山下 倫実		水曜	4限		
コミュニケーションの心理学	綿井 雅康		水曜	1限		
リハビリテーション論	布施 晴美		金曜	2限		
身体運動の心理学	平田 智秋		火曜	3限		
脳と心の科学	池田 まさみ		金曜	4限		
文化と心理学	東畑 開人		水曜	2限		
異文化コミュニケーション	田総 恵子		金曜	4限		
ネットと世論	川口 英俊		木曜	2限		
音楽表現論	棚谷 祐一		火曜	4限		
メディアプロデュース論	加藤 亮介		木曜	3限		
教育学概論A	狩野 浩二		月曜	2限		
教育方法A	狩野 浩二		月曜	3限		
特別支援学校教育概論	中西 郁 他		水曜	5限		
表現活動（基礎）	狩野 浩二 他		火曜	3限		
地域福祉論 I	佐藤 陽		金曜	4限		
ボランティア・コーディネーション	佐藤 陽		金曜	3限		
社会福祉概論 I	片居木 英人		火曜	4限		
社会保障論 I	片居木 英人		火曜	2限		
人間栄養学概論	山本 茂		金曜	2限		
日本文学論C	武田 比呂男		火曜	3限		
日本語学入門	星野 祐子		月曜	3限		
日本語学A	星野 祐子		月曜	4限		
色彩とデザイン	加藤 暁子		金曜	3限		
児童学概論	二宮 紀子 他	土曜	1限			

※上記時間割は2/25現在のものになります。急な時間割変更が発生する可能性もあります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※授業は4月10日（水）から開始しますが、一部変則的な取り扱いがあります。

(2) 場所

十文字学園女子大学

〒352-8510 新座市菅沢 2-1-28

[アクセス方法]

- JR 武蔵野線新座駅下車、徒歩 8 分
- 東武東上線「志木駅」発「清瀬駅」行きバス
- 西武池袋線「清瀬駅」発「志木駅」行きバスともにオリエンタル酵母工業前下車、徒歩 5 分



※駐車場のご用意が出来ませんので公共の交通機関でのご来校をお願いいたします。

2 受講料等

(1) 受講料 1 科目 (半期) につき 10,000 円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

(講義概要に教科書についての記載がない場合も、必要になる場合があります。詳しくは第 1 回目の授業で担当教員から説明があります。)

3 受講の申込み

(1) 申込期限 平成 31 年 3 月 19 日 (火) (消印有効)

(2) 申込先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28

十文字学園女子大学 地域連携推進課

電話: 048-477-0958 (直通)

(3) 申込方法

往復はがきに以下の事項をもれなく記入の上、郵送でお申込みください。

- (1) 住所
- (2) 氏名 ふりがな
- (3) 性別
- (4) 年齢 (平成 31 年 4 月 1 日現在)
- (5) 電話番号
- (6) 受講希望科目・担当教員名 (何科目でも可)

(4) 選抜方法

定員を超える場合または多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。(受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。)

4 各授業科目の概要及び担当教員

<p>グループダイナミクス (風間 文明教授)</p>	<p>グループダイナミクスとは、集団および集団成員の行動に関する一般的法則を明らかにしようとする社会科学の1分野です。本講座では、集団内での人間行動に関する心理学的知見を平易に解説します。具体的には、集団の形成、集団規範への同調と逸脱、集団合議による意志決定、リーダーシップなどの問題を取り上げる予定です。</p>
<p>恋愛と結婚の科学 (山下 倫実准教授)</p>	<p>親密な異性関係（恋愛関係・夫婦関係）は人にとって極めて関心の高い関係です。本科目は、社会心理学の分野で明らかになっている恋愛や夫婦関係に関する科学的なデータを示し、恋の始まりから終わりまでを解説します。また、近年の結婚に対する価値観や生活環境の変化によって影響を受ける夫婦関係についても取り上げます。</p>
<p>コミュニケーションの心理学 (綿井 雅康教授)</p>	<p>私たちが日常生活のなかで何気なく行っている様々なコミュニケーションを心理学の視点から客観的にとらえ直します。コミュニケーションのなかで、人間がどのような行動を行っているのか、心や行動にどのような影響を及ぼすのかについて、明らかにされている心理学的なメカニズムや法則性を中心に述べます。</p>
<p>リハビリテーション論 (布施 晴美教授)</p>	<p>リハビリテーションの基盤となる理念は、人権の保障であり、心身に障がいのある人々が残存能力を発揮し、潤いのある豊かな生活を実現することです。本授業では、リハビリテーションに関する基本事項について学習し、ノーマライゼーションの原理やQOLに視点をおき、リハビリテーションを通して機能回復を図るばかりではなく、人間らしく生きる権利の回復を図ることについて理解を深めることを目的とした講義を展開します。また、心理面におけるリハビリテーションについても触れます。</p>
<p>身体運動の心理学 (平田 智秋教授)</p>	<p>身体と心、脳に関する話題を概観しながら、柔軟な人間観を養います。心について深く考えるには、身体運動の基礎知識が不可欠です。大まかな内容としては、1)身体が動く仕組み（筋骨格系から脳までの機能と構造）、2)運動制御と運動学習の仕組み、3)身体運動と心理学との関わりを学び、改めて人間を見直し、心の多様さについて考えます。純粋な講義ではなく、簡単な実験や演習を折り込みながら授業を進めます。</p>
<p>脳と心の科学 (池田 まさみ教授)</p>	<p>本講座では、心理学をはじめ、認知科学、神経科学の分野における実験や臨床研究の紹介を交え、人間の認知の仕組み（神経メカニズム）を概説します。授業では、映像や簡易的な実験デモを提示しながら、体験的に「脳」と「心」の関係を学びます。また受講生自ら課題を発見し探究する力＝科学的視点を養うことを目指します。</p>
<p>文化と心理学 (東畑 開人准教授)</p>	<p>今年は文化現象の最たるものである芸術に焦点を当てて講義を行います。問いは美と醜が私たちの生きていくこととどのように関わっているのかということです。私は臨床心理士として、様々な心の悩みの治療を行ってききましたが、そこでは美や醜が苦悩となることが少なくありませんでした。では、美や醜とは心にとって何なのか？それを様々な臨床心理学理論の観点から解き明かしたいと思います。</p>
<p>異文化コミュニケーション (田総 恵子教授)</p>	<p>異なる文化的背景の人と出会ったとき、うまくコミュニケーションができないと感ずることがあります。それは、手段（言語、非言語）が充分でないから、それとも、考え方（文化）が違うからなのでしょう。授業では、コミュニケーションの方法と文化のつながりについて考え、異文化間のコミュニケーションの特徴を探ります。</p>

<p>ネットと世論 (川口 英俊准教授)</p>	<p>インターネットが世論、政治の決定にどのような影響を与えるかを政治的決定のルール・行政のしくみ・時事問題などを通じて学びます。現在の課題（例えば、少子高齢化と福祉、財政赤字、憲法改正、安全保障など）がどのように決められていくか、どのように決めていくべきか、そこにインターネットの影響があることとその問題点を考えます。パソコン教室で2～3回、授業予定。</p>
<p>音楽表現論 (棚谷 祐一准教授)</p>	<p>本講座では、私たちにとってもっとも身近な音楽である日本のポピュラー音楽や日本の音楽ビジネスについての基礎的知識を学びます。また、音楽などの文化が、経済、社会、技術とどのように関係しているのかを、具体的な事例をあげながら分析します。講義は『ポピュラー音楽の社会経済学』（高増 明著 ナカニシヤ出版 2013年）の内容をベースに行いますが、テキストの購入は必須ではありません。</p>
<p>メディアプロデュース論 (加藤 亮介講師)</p>	<p>本講義では、まず、マスメディアからネットメディアまで、現代の多様なメディア環境の読み解きを行います。そして、自分なりの「メディア活用」「メディア発信」等を検討します。総じて、メディアプロデュース視点の基礎となるリテラシーを養成していきます。テキストは使用せず、各講義で適宜資料配布を行います。</p>
<p>教育学概論A (狩野 浩二教授)</p>	<p>教育職員免許法に定められた教職に関する科目です。将来、教員を目指す学生が受講します。テキストは田嶋一他編『やさしい教育原理第3版』（有斐閣）です。教育の思想や歴史について、最新の教育学研究に関する成果を踏まえて考察します。テキストは各自購入してください。</p>
<p>教育方法A (狩野 浩二教授)</p>	<p>教育職員免許法に定められた教職に関する科目です。将来、教員を目指す学生が受講します。教育に“方法や技術”が必要なのはどうしてなのかという課題について、最新の授業研究に関する成果を踏まえて考察します。テキストは教室で紹介いたします。</p>
<p>特別支援学校教育概論 (中西 郁教授・高岩 亜輝子准教授)</p>	<p>特別支援教育の児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の在り方は、教育の原点と言われていています。本講座では、その特別支援教育の基盤となっている特別支援学校の教育の歴史や児童生徒の障害について学んでいきます。テキストは杉野学他編『特別支援教育の基礎』（大学図書出版）です。テキストは各自購入してください。</p>
<p>表現活動（基礎） (狩野 浩二教授・久保田 葉子講師)</p>	<p>教員を目指す学生たちに対して、教員として必要となる基礎的な表現力を養う科目です。教材は教室で配付します。斎藤喜博作詞、近藤幹雄作曲『利根川』（合唱曲集『子どもの四季』1979年、一莖書房所収）という作品を学生と一緒に学びます。歌唱や朗読などの表現活動に関する基礎的な技法を指導します。最終発表会は近隣の小学校等に出向いて行う予定です。</p>
<p>地域福祉論Ⅰ (佐藤 陽教授)</p>	<p>地域の中で孤立する人々の問題がクローズアップされ、人と人との絆が改めて問われています。本論は、地域における人と人とのつながりの再構築と、様々な人や機関・団体の協力によって支え合う仕組みづくりに関する施策や地域福祉活動実践の実際から、地域福祉の考え方や推進する方法について学び、地域共生社会の実現に向けて取り組む姿勢を養います。授業時にシンキングタイムとして受講生同士で話し合う時間をつくります(グループワーク)。授業開始時にプリント配布するので購入教科書はなし。</p>

<p>ボランティア・コーディネーション (佐藤 陽教授)</p>	<p>人と人とのつながり、人と社会のつながりが求められる今日、自ら主体的に参加する「支え合い」の営みの1つにボランティア活動があります。本科目は、ボランティアとその活動推進に必要なコーディネーションの基本を理解します。授業時にシンキングタイムとして受講生同士で話し合う時間をつくります(グループワーク)。授業開始時にプリントを配布するので購入教科書はなし。</p>
<p>社会福祉概論 I (片居木 英人教授)</p>	<p>社会福祉の核心は「生存権とその保障としての国家責任の明確化」にあります。日本国憲法 13 条、14 条、25 条の理念をしっかりと社会福祉に活かしていくことが大事です。この授業はそこを踏まえながら公助・共助・自助をどのように組み合わせるのか現代の社会福祉を考えるのか探っていきたいと考えています。社会福祉へという歴史的展開にもふれながら分かりやすく、あらためて「社会福祉とは何か」についてみなさまと一緒にその理解を深めてまいります。</p>
<p>社会保障論 I (片居木 英人教授)</p>	<p>今、あらためて社会保障の存在意義が問われています。憲法 25 条の生存権保障と公的責任の明確化は、ますますその重要度を増しています。公的部門を中心とした社会的セーフティネットの制度設計をどのように組み立てていくのか、課題が大きく横たわっています。本授業では、社会保障の理念、役割、意義、範囲等への理解を深めていくなかで、負担と給付のあり方を問い、分権型福祉国家像の構築の可能性を探っていきたいと考えています。</p>
<p>人間栄養学概論 (山本 茂教授)</p>	<p>人の栄養の有り方は簡単に見えますが、実は非常に複雑です。人に親切にすると感謝をする人、放っておいてくれと有難迷惑に思う人など様々ですが、栄養学も人の心のように複雑なのです。本講義では、日常的な話題を取り上げ、人の栄養がどうあるべきかを考えます。</p>
<p>日本文学論 C (武田 比呂男教授)</p>	<p>地獄という世界はどうやって成立し、どのように展開したのでしょうか。古事記、万葉集、霊異記、往生要集などのテキストを読み解き、古代の人びとが自分たちの生と死をどのようにとらえていたのか、日本に仏教が入ってくることで人々の精神世界がどのように変容したのかを探ります。</p>
<p>日本語学入門 (星野 祐子准教授)</p>	<p>私たちにとって日本語は無意識的な存在。その無意識的な日本語に対し意識的になることがこの講義の目的です。講義では、音声・語彙・文法・方言などの観点から、日本語に関わる興味深い話題を取り上げます。日本語の奥深さを実感できるはずで、テキストは『やさしい日本語のしくみ』(庵功雄他著、くろしお出版)を使います。</p>
<p>日本語学 A (星野 祐子准教授)</p>	<p>日本語の成立について通時的に観察し、ことばの変化とその要因を探ります。また、現代語から切り離された過去の言語活動として古いことばを扱うのではなく、今の日本語への影響やその残存を意識しながら、日本語の成立を捉えていきます。テキストは『日本語の歴史』(山口仲美著 岩波新書 2006 年)を使用します。</p>
<p>色彩とデザイン (加藤 暁子准教授)</p>	<p>虹が七色に見える現象など、電磁波の中で人の目に見える限られた波長を可視光と呼びます。色は状況によって変化して見える現象で、また、色彩感覚やデザインには表情があります。それら色とデザインの性質を学び、最も効果の上がるような表現力を科学的に学びます。インテリアや服飾デザインも題材にします。</p>

児童学概論 (二宮 紀子准教授 他)	子どもを取り巻く社会・環境は大きく変化しています。生涯発達の基礎となる乳幼児期の子どもに必要な経験は何か、子どもについてより深く理解することが我々自身の理解につながります。本講座では幼児教育学科専任教員が各自の専門領域から講義し、一般的な「子ども」像を崩し、より多面的に「子ども」について探究します。
-----------------------	--